

# ポーランド政治・経済・社会情勢

## (2013年9月26日～10月2日)

平成 25 年(2013 年)10 月 4 日

H E A D L I N E S

### 政治

下院, 胎児の深刻な障害を理由とする中絶を禁じる法案を否決  
 シェモニャク国防相がスペインを訪問  
 軍防諜局長の解任に関する下院特別委員会  
 コモロフスキ大統領, 国連安保理の対シリア決議を歓迎  
 ワレサ元大統領, ロシア人実業家にレフ・ワレサ賞を授与  
 ハンガリー国会議長がポーランドを訪問  
 ポーランド外務省, 2014年の開発支援計画を発表  
 軍国防費削減に対する国防省反応

### 経済

PARPが中小企業高度革新的投資支援補助金の入札を実施予定  
 2014年政府予算案を採択  
 2016年まで現在のVATレートを維持  
 ポーランド投資会社の副社長が選任される  
 賃金上昇率が鈍化する傾向  
 約半数のポーランド人がユーロの採用を支持  
 9月のPMIIは53.1  
 マセラティ, ベントレー, アストン・マーティンの売れ行きが好調  
 電子商取引(e-commerce)が拡大  
 Grupa Azoty 社が Siarkopol 社を買収  
 Asseco 社が欧州第2位の地位を狙う  
 Inter Groclin 社が日産に部品供給  
 Amazon社がポーランドへの投資を計画  
 電通社がポーランドで拡張予定  
 SEPCO社がKW社の石炭火力プロジェクトに18億米ドルの資金保証を提示  
 ガス・パイプラインがPGNiG社の競争相手に開放される予定  
 エネア社がガスの小売市場に参入予定  
 ポーランド人は, シェールガス開発を許容(TNSポルスカ社世論調査)  
 タウロン社がガス火力発電所建設プロジェクトを中止  
 洋上風力発電への投資の凍結を各社が検討

### 大使館からのお知らせ

ポズナンにおける領事出張サービスについて  
 平成25年度後期分教科書の配付について  
 東日本大震災義捐金受付について  
 文化行事・大使館関連行事

在ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。  
 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

**下院、胎児の深刻な障害を理由とする中絶を禁じる法案を否決【27日】**

27日、下院は、国民提出法案である胎児の深刻な障害を理由とする中絶を禁じる法案を否決し

た。現在のポーランド国内法では、母体の健康及び生命に危害をもたらす場合、妊娠が強姦に因る場合、胎児が深刻な障害を有している場合の中絶は合法となっている。

外	交
---	---

**シエモニャク国防相がスペインを訪問【26日】**

26日、シエモニャク国防相はスペインを訪問。モレネス・西国防相と会談し、EU国防相会合に向け両国の意見を集約するとともに、EU内で共に中程度の規模を持つ国として防衛産業分野での協力について協議。

進等に対して授与されているものであり、ホドルコフスキー氏への今次授与は同氏のロシアでの人権の確立に向けた努力に対するもの。

**ハンガリー国会議長がポーランドを訪問【2日】**

2日、クヴェール・ハンガリー国会議長がポーランドを訪問し、ボルセヴィチ上院議長及びコパチ下院議長等と会談を行った。会談では、二国間関係、ヴィシエグラード・グループ協力、EU情勢等につき意見交換が行われた。

**軍防諜局長の解任に関する下院特別委員会【27日】**

27日、下院特別委員会は先週20日にトウスク首相から提起されたノセク軍諜報局長の罷免について審議し、これを肯定。次回の審議は2週間以内に行われる予定。

**ポーランド外務省、2014年の開発支援計画を発表【2日】**

2日、ポーランド外務省は、2014年の開発支援計画を発表した。同計画では、民主主義の発展、人権、政治システムの転換等への支援が優先課題とされ、東方パートナーシップ対象6カ国が主要な支援対象国となっている。

**コモロフスキ大統領、国連安保理の対シリア決議を歓迎【27日】**

27日、コモロフスキ大統領は、同日に国連安全保障理事会がシリアに化学兵器廃棄を義務付ける決議を採択したことに関し、この先は長い道のりであるが間違いなく正しい方向に進んでいる、シリアの化学兵器の廃棄は国際社会の合意を受けて実行されなければならない旨述べた。

**軍国防費削減に対する国防省反応【2日】**

国防省は、この5年の間、配分された予算を100%執行できておらず、常に相当額の予算が残るため、今回トウスク首相が公表している軍予算の削減に対してそれほど憂慮していない。予算未執行の理由は、入札不成立、要求事項の変更及び契約不履行等とされており、ソント国防省報道官は、与えられた予算の100%執行は目標ではあるが義務では無い、と説明している。

**ワレサ元大統領、ロシア人実業家にレフ・ワレサ賞を授与【29日】**

29日、ワレサ大統領は、ロシア人実業家で現在ロシア政府によって逮捕・収監されているホドルコフスキー氏にレフ・ワレサ賞を授与した（授与式には同氏の息子が参加）。レフ・ワレサ賞は自由の促

経	済
---	---

経済・財政政策
---------

**PARPが中小企業高度革新的投資支援補助金の入札を実施予定【26日】**

「Innovative Economy」基金に残余があることから、PARP（ポーランド企業開発庁）は中小企業による高度革新的投資を支援する総額5億ズロチ（約150億円）規模の補助金の入札手続きを10月中旬までに開始する予定。なお、Innovative Economyの「Action4.4」向け予算の残余は40億ズ

ロチ（約1,200億円）程度あり、更なる入札の実施が見込まれている。

**2014年政府予算案を採択【30日】**

政府は、GDP成長率2.5%、インフレ率2.4%を想定し、財政赤字が477億2,500万ズロチとなる2014年度予算案を採択した。当該予算案では、名目賃金上昇率は3.5%、雇用は0.1%減、個

人消費は4.6%増を見込んでいるが、地方政府及び大学職員を除く公共部門の賃上げは2013年と同様に凍結される。

### **2016年まで現在のVATレートを維持【1日】**

2011年に1%引き上げられ、現在23%及び8%となっている付加価値税(VAT)レートは当初より2014年まで継続することが予定されていたが、それ以降も2016年まで維持することが閣議で決定された。政府はVATレートを維持することにより、公的債務残高を削減し輸出市場の景況感も改善

できると説明している。

### **ポーランド投資会社の副社長が選任される【2日】**

ポーランド投資開発社(PIR、ポーランド投資プログラムを実施する国有財産省所管の特別目的会社)の経営監督会はミハウ・ルビエニエツキ氏(Mr. Michal Lubieniecki)を同社投資チームを担当する副社長に指名した。同氏は、金融助言会社「Icentis Corporate Solutions」社に所属していた。また、欧州投資銀行(EIB)での勤務経験もある。

## マクロ経済動向・統計

### **賃金上昇率が鈍化する傾向【26日】**

中央統計局(GUS)によれば、2012年の平均賃金は前年比3.5%上昇となる3,521ズロチとなった。平均賃金上昇率は、急なインフレ率低下も影響し過去7年間で最も低くなっているが、それだけでなく過去5年間、平均賃金上昇率はGDP成長率を下回っている。2012年は地域格差も拡大しており、マゾビエツキエ県の平均賃金は国平均より21.5%多かった。また、上場企業の役員の給与は前年比で10%程度上昇しており、金融分門における上昇率が大きい。

べきとの回答だった。一方、ユーロ導入の影響については、好影響があると回答した割合は13%、悪影響があると回答した割合は52%、どちらとも言えないが22%、無回答が13%だった。また、家計への影響については、12%が好影響、62%が悪影響、ポーランド経済への影響については、17%が好影響、62%が悪影響、12%が影響なし、20%が無回答だった。調査は、無作為抽出された15歳以上のポーランド人1,000人を対象に、9月6日～11日にかけて実施された。

### **約半数のポーランド人がユーロの採用を支持【30日】**

ユーロの採用に関するOBOP社の世論調査において、49%がユーロの導入を支持、40%が反対との回答(11%が無回答)だった。なお、支持すると回答した49%のうち、11%が5年以内、18%が6～10年以内、20%が10年以上後に採用す

### **9月のPMIは53.1【1日】**

9月の購買担当者景況指数は、8月の52.6ポイントから53.1ポイントへと3カ月連続で上昇した。第3四半期のPMIは52.3ポイントとなり、過去2年間で最も高い数値となった。集計したHSBCは、2013年のGDP成長率を1%、2014年は2.6%と予測している。

## ポーランド産業動向

### **マセラティ、ベントレー、アストン・マーティンの売れ行きが好調【26日】**

景気の低迷にも関わらずプレミアム・カーやレーシング・カーの販売が過去最高を記録し続けている。ベントレーは1～9月期で過去最高となる14台を販売した。平均価格は90万～110万ズロチ(約2,700万～3,300万円)だった。昨年の販売台数は12台だったが、今年は20台以上、来年はそれ以上を見込んでいる。アストン・マーティン社も需要に見合う台数が供給できれば過去最高の販売台数を記録する見込みであるとしている。ポーランド市場への参入当初は、50万～70万ズロチ(約1,500万～2,700万円)の価格帯の車が売れることを見込んでいたが、最も人気のあるモデルは160万～180万ズロチ(約4,800万～5,400万円)

のヴァンキッシュ・モデルとなっている。マセラティも本年40～50台を販売することを見込んでいる。

### **電子商取引(e-commerce)が拡大【26日】**

GfK Polonia社は、ポーランドにおけるオンライン・ストアの数は1万2千件、取引額(昨年)は215億ズロチ(約6,500億円)、全取引に占める電子商取引の割合は3.8%であるとの調査結果を発表した。ポーランドにおける電子商取引の約半数は Allegro 社のオークションサービスを経由して行われている。GfK Polonia社は、電子商取引が全取引に占める割合は、衣料品部門で2015年に16%、2020年に20%、家庭用電化製品で、同22%、33%に達すると予測している。電子商取引の拡大は、既に電化製品小売店床面積の縮小

や、音楽・書店数の減少という形で影響が出ている。しかし、ポーランドは依然米国や西欧諸国より遅れている。

### **Grupa Azoty 社が Siarkopol 社を買収【27日】**

Grupa Azoty 社（ポーランド最大の化学肥料会社）は Siarkopol 社（硫黄生産会社）の株式の85%を国有財産省から取得した。なお、取引完了には、競争・消費者保護局の承認を得る必要がある。Grupa Azoty 社は生産品の主要原料である液化硫黄の安定的な供給を確保すべく買収を決断した。

### **Asseco 社が欧州第2位の地位を狙う【27日】**

Asseco 社（ポーランド最大のIT企業）が今後5年程度で欧州第2位のIT企業となるべく戦略的パートナーシップを形成することを検討している。ただし、SAP社を抜いて第1位となることは狙っておらず、また、現時点では具体的な交渉は行っていない。同社は、新興国市場やアフリカでの事業拡大を図っており、また、デンマーク市場にも注目している。

### **Inter Groclin 社が日産に部品供給【27日】**

Inter Groclin 社（ポーランドの自動車シート用部材等製造会社）は、日産社と Altima, X-Trail 及び Qashqai（日本名：デュアリス）向け自動車シート・カバーの供給に関する1億4百万ユーロの契約に署名した。2013年第4四半期から2020年まで日産社のサンクトペテルスブルグ工場に出荷される。

### **Amazon社がポーランドへの投資を計画【1日】**

米国電子商取引大手のAmazon社は、ポーランド及びチェコの5カ所に物流センターを設置する予定で、ヴロツワフ及びポズナン近郊に2カ所のロジスティック・ハブを設けることを計画している。両地域にそれぞれ約10万平米の土地を取得し、5千～6千万ユーロを投資、6,000人を雇用する予定。また、季節によっては更に9,000人を雇用する。

### **電通社がポーランドで拡張予定【1日】**

2012年に Aegis グループを買収した電通社がポーランドでの投資を検討している。Aegis 社は1億ズロチの買収予算を有しており、ポーランド企業数社と協議している。

## エネルギー・環境

### **SEPCO社がKW社の石炭火カプロジェクトに18億米ドルの資金保証を提示【27日】**

コンパニア・ヴェングロヴァ社（KW, EU最大級のポーランド国有石炭会社）の Czeczott 発電所建設プロジェクトに対し、SEPCO社は18億米ドルの資金保証を行うことを提案した。同プロジェクトにはSEPCO社の他、日本の三井物産社と韓国のサムスンC&T社が提案を出している。KW社は協力企業として1社を選択し、年末までに排他的交渉権を付与する。同プロジェクトの投資規模は15億ユーロで、本年発電所の建設を担う特別目的会社を設立、2019年までに建設を完了する予定。年間石炭消費量250～350万トン、発電電力量6TWhとすることが見込まれている。

### **ガス・パイプラインがPGNiG社の競争相手に開放される予定【30日】**

ガス・システム社（ポーランドの国有ガス・パイプライン網管理会社）は、ポーランドのガス需要の45%に相当する約70億m<sup>3</sup>の輸入を可能とするパイプライン利用に関する入札を来年行う予定。8月に成立した改正エネルギー法により、ガス・パイプライン・インフラへのアクセスに関するルールが見直されたことを受けたもの。年間契約によるガス輸出入向けに90%分、短期契約供給向けに10%分が割り当てられる。今回の改正により、競

争が促進され、ガス価格が引き下げられることが見込まれている。

### **エネア社がガスの小売市場に参入予定【30日】**

エネア社（ポーランド第3位の国有電力会社）は2014年にガスの小売市場に参入することを計画している。同社は、電力とガスの双方を販売する方針。エネア社は、エネルギー規制局から2014年1月1日から2030年12月31日までの小売市場ライセンスを取得している。同社は、現在のビジネス顧客にガスの販売を提案し、10月に価格について協議する予定。

### **ポーランド人は、シェールガス開発を許容（TNSポルスカ社世論調査）【2日】**

シェールガス探査を行う地域の近隣に住むポーランド人の約72%は、シェールガスの採掘を支持しているとの調査結果がTNSポルスカ社の調査で明らかになった。また、対象者の60%が近所でシェールガス採掘が行われても許容すると回答している。シェールガスの採掘には7%が反対している。92%の回答者がシェールガスについて聞いたことがあると回答し、情報源はテレビ（85%）、新聞（54%）、ラジオ（49%）及びインターネット（44%）との結果だった。調査はランダムで抽出された1,101人を対象に8月19日から24



日にかけて行われた。

### **タウロン社がガス火力発電所建設プロジェクトを中止【2日】**

タウロン(ポーランド第2位の国有電力会社)グループの発電事業会社は、カトヴィツェでの135 MWのガス・コンバインド・サイクル発電所建設プロジェクトの入札を中止した。同社は入札価格が想定よりも高かったためとしている。同社は、6.6億ズロチ(約205億円)の支出用意があったが、最低入札価格は7.9億ズロチ(約245億円)だった。

### **洋上風力発電への投資の凍結を各社が検討【2日】**

ポーランドの洋上風力発電所建設プロジェクトに、Polenergia 社、PGE社及びPKNオルレン社が既に約2.5億ズロチ(約77億円)投資したが、政府が再生可能エネルギーに対する支援を抑制する方針を受けて、各社は投資の凍結を検討している。一方、ポーランドはグリーン証書の取得に入札を行うことを検討している。洋上風力発電のための個別の入札を実施することは予定されていない。

## 大使館からのお知らせ

### **ポズナンにおける領事出張サービスについて**

大使館は、10月19日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Poznan(ul. Roosevelta 20, 60-829,Poznan)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは下記当館HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

### **平成25年度後期分教科書の配付について**

大使館では、ポーランド在住の邦人子女を対象に、平成25年度後期分教科書(小学生のみ)を配付いたします。(後期分は中学生用教科書の配付はありません。また、ワルシャワ日本人学校に通学しているお子様には学校から配付されますので、今回の配付の対象とはなりません。)詳しくは下記当館HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)

### **東日本大震災義捐金受付について**

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成26年3月31日(月)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

[http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm)

## 文化行事・大使館関連行事

### **【開催中】第11回「日本の十月」【9月23日(月)～10月26日(土)】**

ワルシャワ市にて、ヴィラヌフ宮殿博物館主催による、第11回「日本の十月」が開催されます。生花・日本舞踊のデモンストレーション、コンサート等、様々な日本文化を紹介するイベントが予定されています。

問合せ先・開催場所: Muzeum Palacu w Wilanowie(住所: Stanisława Kostki Potockiego 10/16, 電話: 22 842 81 01, ホームページ: <http://www.wilanow-palac.pl>)

### **【予定】ポーランド囲碁協会 30周年記念式典・囲碁大会【10月5日(土)】**

ポーランド囲碁協会の30周年記念行事が開催されます。囲碁大会、式典が行われます。

問合せ先: Polskie Stowarzyszenie Go (ポーランド囲碁協会)

開催時間: 囲碁大会 10時～17時, 式典 17時半～

開催場所: ワルシャワ囲碁クラブ, ul. Bialobrzaska 4a

### **【予定】鐔・日本装飾技術の傑作展【10月12日(土)～2014年3月9日(日)】**

トルン市にて、ポーランドのコレクションから日本鐔の展示会が開催されます。

問合せ先: トルン地域博物館 (Muzeum Okregowe w Toruniu)

ホームページ: <http://www.muzeum.torun.pl/portal.php>

開催場所: トルン市, Kamienica pod Gwiazda, Rynek Staromiejski 35

**【予定】チャンピオン・カップ 国際伝統空手選手権大会【10月12日(土)】**

ヴロツワフ市にて、「コブ」伝統空手クラブによる国際伝統空手選手権大会「チャンピオン・カップ」が開催されます。

問合せ先:「コブ」伝統空手クラブ(Klub Karate Tradycyjnego Kobu)

ホームページ:[www.kobu.pl](http://www.kobu.pl) Eメール:[kobu@home.pl](mailto:kobu@home.pl)

開催場所:ヴロツワフ市, AWFスポーツホール, ul. Paderewskiego 35

**【予定】第4回国際青少年柔道選手権大会 ヴロツワフ大会【10月12日(土)~13日(日)】**

ヴロツワフ市にて,ドルノシロンスク柔道協会による第4回国際青少年柔道選手権大会が開催されます。

問合せ先:ドルノシロンスク柔道協会(Dolnoslaski Zwiasek Judo)

ホームページ:<http://www.dzjudo.org> Eメール:[dzjudo@sport.wroclaw.pl](mailto:dzjudo@sport.wroclaw.pl)

開催場所:カティ・ヴロツワフスキェ市(ヴロツワフ周辺)スポーツホール

**【予定】第2回日本文化・武道フェスティバル【10月12日(土)~20日(日)】**

ラチブシュ市にて,ポーランド合気道連合会による第2回日本文化・武道フェスティバルが開催されます。武道のデモンストレーションとワークショップ,日本文化に関する講演会とワークショップ等が予定されています。

問合せ先:ポーランド合気道連合会 (Polska Organizacja Aikido)

ホームページ:[www.budogala.pl](http://www.budogala.pl) Eメール:[ostryj@interia.pl](mailto:ostryj@interia.pl)

開催場所:ラチブシュ市(シロンスク県), スポーツホール

**【予定】福田直樹氏ピアノコンサート【10月17日(木)11時】**

ショパン生家のジェラゾヴァ・ヴォラにて,福田直樹氏によるショパンの164回目の命日を記念したピアノコンサートが開催されます。入場無料。事前申込みが必要です。

開催場所:ショパン生家, Zelazowa Wola

問合せ・申込み先: 電話 22 584 73 00 Eメール:[info-cul@wr.mofa.go.jp](mailto:info-cul@wr.mofa.go.jp)

詳細:<https://www.facebook.com/events/677322725612474/?ref=22>

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

**皆様からの情報提供をお待ちしています**

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

**【お問い合わせ・配信登録】**

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト([http://www.pl.emb-japan.go.jp/index\\_j.htm](http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm))も併せて御覧ください。

[在ポーランド日本国大使館 newsmail@wr.mofa.go.jp](mailto:newsmail@wr.mofa.go.jp)

(ご連絡は電子メールでお願いします。)